

別記様式（第8条、第9条、第11条、第12条関係）政務活動費に係る収入及び支出の報告書

令和5年度政務活動費に係る収入及び支出の報告書

令和6年4月30日

愛媛県議会議長 三宅 浩正 様

議員氏名 高橋 英行



愛媛県政務活動費の交付に関する条例（平成13年愛媛県条例第30号）第8条の規定に基づき、次のとおり報告します。

1	収 入 (政務活動費)		3,960,000円
2	支 出		3,960,000円
支 出 の 内 訳	項 目	支出額(円)	備考(主たる経費の内訳)
	調 査 研 究 費	1,296,758	視察調査費 354,846円 交通費 501,912円 政務活動費における共通経 440,000円
	研 修 費	208,340	会費 138,500円 交通費 69,840円
	広 聴 広 報 費	755,260	県政報告印刷費 247,268円 郵送料 483,792円
	要請陳情等活動費	0	
	会 議 費	51,260	交通費 51,260円
	資 料 作 成 費	0	
	資 料 購 入 費	205,650	書籍購入費 80,070円 新聞雑誌購読料 125,580円
	事 務 所 費	399,825	賃料 303,300円 光熱水費 57,851円
	事 務 費	106,811	消耗品費 79,561円 通信費 19,027円
	人 件 費	936,096	賃金 936,096円
		合 計	3,960,000
3	収支差額(残余)		0円
4	主な事業内容	別紙のとおり。	



別紙

項 目	主 な 事 業 内 容
調査研究費	1. 海外視察（計200,810円） ①愛媛県議会国際交流促進議員連盟 韓国視察 ・日程：令和6年1月21日～令和6年1月24日 ・場所：韓国釜山、ソウル 2. 県内視察（計72,906円） ①愛媛県議会果樹農業振興議員連盟 「令和5年度全国みかん生産県議会議員対策協議会」和歌山県視察 ・日程：令和5年8月24日～令和5年8月25日 ・場所：和歌山県果樹試験場等 ②愛媛県議会果樹農業振興議員連盟 東京視察 「えひめ愛フード推進機構 東京トップセールス及び意見交換」 ・日程：令和5年11月5日～令和5年11月6日 ・場所：東京都中央卸売市場 大田市場 3. 政務活動費における共通経費（計440,000円） ・40,000円×11ヶ月分
研 修 費	1. 研修会参加（計11,932円） ①愛媛県人権教育協議会「2023年度人権フォーラム」 ・日程：令和5年8月19日 ・場所：砥部町文化会館 ②愛媛県地球温暖化防止県民運動推進会議 ・日程：令和6年2月14日 ・場所：愛媛県男女共同参画センター 2. 会費 ①議員連盟会費（計72,500円）
広 聴 広 報 費	1. 県政報告書の発行（計731,060円） ・部数：20,380部
会 議 費	1. 会議参加（計10,838円） ①愛媛県道路利用者会議 ・日程：令和5年9月4日 ・場所：ANAクラウンプラザホテル松山 ②第42回障がい者福祉推進愛媛県大会 ・日程：令和5年12月16日 ・場所：松前総合文化センター
資 料 購 入 費	1. 書籍購入【愛媛経済レポート等】（計80,070円） 2. 新聞購読【愛媛新聞等】（計125,580円）
事 務 所 費	1. 事務所の家賃代（計303,300円） 2. 光熱水費【電気代・水道代等】（計57,851円）
事 務 費	1. 消耗品の購入（計79,561円） 2. 通信費【電話代】（計19,027円）
人 件 費	1. 政務活動従事職員等の雇用（計936,096円） ・雇用期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日（1名）

と簡易除染。大洲市（UPZ）住民の広域避難所（松山市テクノプラザ）を視察した。

内閣府、原子力規制庁や自衛隊等の行政機関、地方公共団体、公共機関・団体、そして原子力事業者等の全 94 機関、約 2 万人が参加した 14 項目の訓練を通じて、伊方発電所において原子力災害が発生した場合に備え、災害対策基本法等や地域防災計画に基づき、発電所から 30km 圏内の住民の安全を確保するため、防災業務関係者及び地域住民が一体となって原子力防災訓練を実施し、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図ると共に、県民の原子力防災に対する理解を促進した。

（2）少子高齢・人口減少社会に対応する医療・福祉の充実

第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会「ねんりんピック愛顔のえひめ 2023」を視察。当大会は、60 歳以上を中心とする、スポーツ・文化・健康と福祉等の総合的な祭典で、厚生労働省・愛媛県・（一財）長寿社会開発センター主催、スポーツ庁共催の下、健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成を目的に、10/28～31、県内全 20 市町（延べ約 50 万人参加）で開催。

今大会では 4 つの目標（①「健康長寿」を実感し、生涯現役につながる、②地域や世代を超えたふれあいによる「地域共生社会」を実現、③「えひめ国体・えひめ大会のレガシー」を継承、④「愛媛らしさ」があふれる大会）を掲げ、大会テーマ「ねんりんを重ねた愛顔 伊予に咲く」の下、参加するすべての方が健康長寿を実感でき、世代を超えたつながりが生まれ、愛媛県ならではの強みや特長を生かした、いつまでも記憶に残る大会となった。

（3）地方創生時代を生き抜く地域産業の振興

南予地域の基幹産業である果樹農業振興の為、県議会果樹農業振興議員連盟の理事として「全国みかん生産県議会議員対策協議会」に出席し、「かんきつ産地の体質強化に関する提案」について協議し、農林水産省等へ要望活動を行った。また、県内の果樹生産者、農協、県関係者らとの「果樹を語る会」に出席し、愛媛県農林水産研究所果樹研究センターにおける試験研究の実施状況を視察した後、愛媛県におけるかんきつ新品種の育成と普及について意見交換を行った。

東京都中央卸売市場（大田市場）を視察し、温州みかんの初競りににおける「えひめ愛フード推進機構トップセールス」に参加し、県営業本部長や農協関係者らと愛媛の温州みかんをアピール。そして市場関係者らと意見交換を行い、県産柑橘の販路拡大に努めた。

2 その他の政務活動の概要

（1）「県政グリーンレポート」の制作及び配布

県議会「第 384 回定例会（6 月議会）」での一般質問における質問及び理事者答弁概要をレポートとしてまとめ、八西地域への配布や HP への掲載等、県政に関する施策等の広報に努めた。また、「2024 新春特別号」として 2023 年の政務活動レポートを制作し、県施策等の広報に努めた。